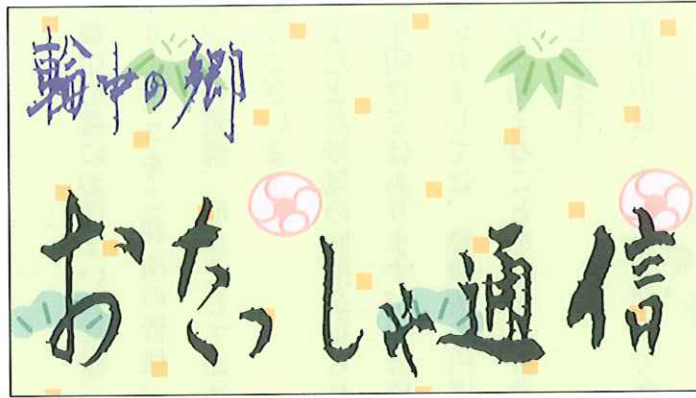


第60号



社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター

〒498-0000
愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL (0567) 65-5531
FAX (0567) 65-5536
E-mail wajyu@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www15.ocn.ne.jp/~yafuku/

新春を迎えて



弥富市長 服部 彰文

あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素は市政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。社会福祉法人弥富福祉会におかれましては、特別養護老人ホーム輪中の郷やデイサービスセンター開設以来、本市の高齢者福祉向上にご貢献され、また地域に開かれた施設として、各種行事を通じて地

域の方々との交流にも力を注いでおられますことに、敬意と感謝を申し上げます。

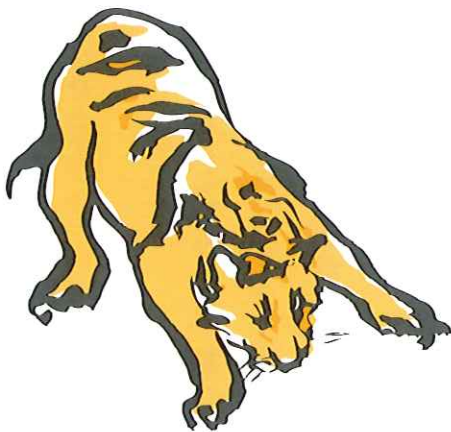
さて、介護保険制度につきましては、創設以来10年がたち、今後さらに高齢化社会が進展するなか重要な役割を担うものであります。

事業者をはじめ関係各位のご尽力により、介護サービスの利用も大幅に増加し、市民生活の中に定着しておりますが、今後ますます高齢者を取り巻く環境は変化していくものと思われれます。

本市といたしましても、引き続き市民の皆様が住み慣れた家庭や地域で、末永く健康で安心した生活が送られるよう、福祉サービスの充実と向上に取り組みでまいる所存です。

今後とも市民一人ひとりの幸せ向上を目指して参りますので、皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りたいと存じます。

終わりに、貴会の益々のご発展と関係各位のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ 「笑う門には福来る」



理事長

佐野 峰夫



ラックスし自律神経の働きを安定させます。

笑って過ごしても一日、怒って過ごしても一日。ならば、笑って過ごすほうが健康のためにはいいですね。

自分自身健康的であり、おまけに笑いというプラスのエネルギーを発散するので人望も高まり、人生が好転してきます。そういう訳で、「笑う門には福来る」となるのでしょうか。

皆様に福が来ることを祈念して、新年のごあいさつとさせていただきます。

輪中の郷にお住まいの皆様、デ
イサービスをご利用の皆様、ス
タッフの皆様、明けましておめで
とうございます。

3 笑いは、大脳辺縁系を刺激し、
β(ベータ)エンドルフィンの
分泌が促進され、鎮痛効果をも
たらします。

まだまだ景気の回復が見られな
い年明けではありますが、皆様に
おかれましては、健康的で円満な
一年が始まることを心から祈念申
し上げます。

4 笑いを体験することで、A-
10神経(快感神経)を刺激し、
脳波でα(アルファ)波が増
え、情緒が安定し感情が豊かに
なります。

旧年中は、大過なく運営できま

5 笑うことにより、ときめき、
感動することでNK(ナチュラル
キラー)細胞が活性化され、
免疫力を高め、がんや感染症の
予防につながります。

1 笑いは腹式呼吸を促進し、腹
筋の運動量が多くなり、内臓の
マッサージ効果が生まれ、血行・
消化が良くなります。

6 笑いは、人の心をなごませ、
よい人間関係を作ります。

2 笑いによる感動は前頭葉を刺

7 笑うことでストレス解消、リ

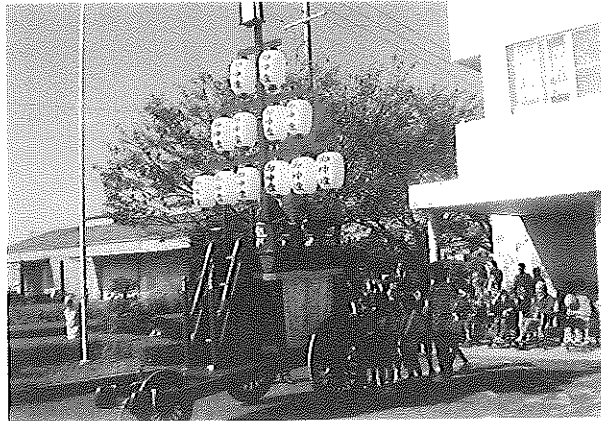
激し、脳の血液循環が良くなり、
脳神経細胞の老化を予防します。

脳神経細胞の老化を予防します。



中山秋祭り

昨年に引き続き10月4日(日) 輪中の郷に、中山の秋祭り山車が やってきました。



今年は晴天に恵まれ、昨年よりも長く勇壮な山車を見学することができました。住人さんも山車が来るまでは、少し落ち着かない様子でしたが、鐘や太鼓の音が少しずつ近づいてくると、満面の笑みに変わっていきます。その表情は

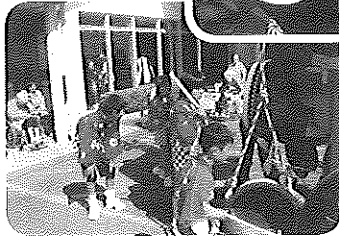
少し若返ったように思えました。

休憩時には太鼓や鐘を叩いてみたり、記念写真を撮られたり、秋の楽しいひとときを過ごすことができました。

地域の皆様のおかげで、2年連続来訪して頂きましたことに感謝いたします。

今後も地域の皆様に喜んでいただける施設作りを目指していかねければならないことを再認識しました。

本当にありがとうございます。



(伊藤公一)

秋の文化祭

「可能性に感動」

10月30日～11月1日に開催された、第7回みんなの作品展「市民文化展」に参加することが出来ました。

手芸クラブの皆さんは、この日に向けて一生懸命頑張りました。

覚えてもすぐ忘れ、半べそをかき方を励ましなが、気長に過ごし作品を作り上げていきました。

出品日迄に間に合わなかった未完成品も展示しましたが、10月31日に鑑賞に出かけ、自分の作品を



みて大変嬉しそうに目を細めていらっしやいました。

それぞれの方には、作る喜びや出来る可能性に自信をもって頂きたいと思います。

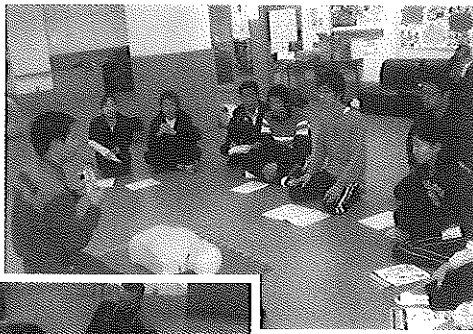
そして、現在参加のメンバーが変わることなく、また初めての方も気楽に参加出来る楽しい手芸クラブでありたいと日々考えております。

(下村ます子)



普通救命講習会

11月5日(木)と10日(火)の2回に分けて、心肺蘇生法を中心にした普通救命講習会が、計60名ほどの職員参加で行われました。



講習は昨年引き続き3回目になります。前回参加する職員が半分ほどでしたが、実際

見るのとやるのでは、かなりの差があり、戸惑う職員も多数見られました。



感想の中で、「仕事以外の日常生活の中でも役立つ」というものがありました。福祉施設で働く私たちが、社会の中で認知していただく存在になるために、普段からの訓練や確認の大切さを痛感する機会になりました。
海部南部消防署の皆様、ご協力ありがとうございました。

(伊藤公一)

野球大会の結果

9月から11月にかけて、第14回愛知県老人福祉施設職員野球大会が小牧市民球場にて24チーム参加で開催されました。

我が海部津島トリニティーズは二回戦から出場でしたが、相手チームの棄権により不戦勝し三回戦へと進出。その対戦相手が、またまた春緑苑チーム。

通算5度目の対戦となります。第13回大会も二回戦で対戦し敗れているので、今年こそは“と意気込みましたが見事に撃沈されました。第15回大会は、戦力を整え臨みたいと思います。

(平川幸士)

▲ 三回戦 (11月4日)

	一	二	三	四	五	六	七	計
海部津島 トリニティーズ	3	0	0	1	0	0	0	4
ブラック キャッツ 春緑苑	1	1	5	1	0	0	×	8



ボウリング大会の結果

11月28日(土)の午後、知立のイーグルボウルにて第11回愛知県老人福祉施設職員ボウリング大会が行われました。

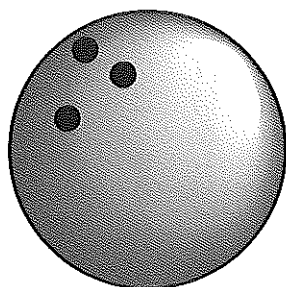
今大会は我が施設から2チーム参加しましたが、他施設のレベルアップや、今回より男性職員の参加も認められたため、苦戦が予想されました。

練習の甲斐なく、予想通り上位進出は叶いませんでした。

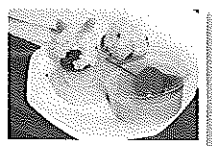
第12回大会は、今までの反省を踏まえ日々練習に力を入れ、上位入賞を目指したいと思います。

冬が近づく小春日和の休日、職員同士、普段仕事をする仲間たちが連携を持つことにより、日頃と違った汗を分かち合い、リフレッシュのひと時を過ごすことができました。

(伊藤公一)

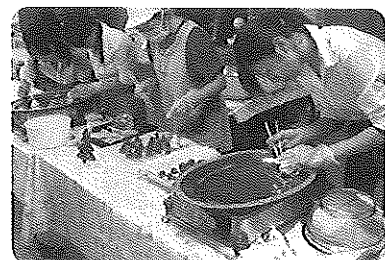


おやつレクリエーション を開催して



住人さんに楽しんで喜んでいただくために、12月8日(火)を3階、9日(水)を2階の2日間に渡り、調理職員を中心とした、おやつレクリエーションを行いました。

テーマは、調理職員が住人さんと密に関わりあうために設けた企画でもあり、住人さんの目の前で作っている姿を見ていただき、選択する楽しさも知っていただきたいと思われました。



メニューや提供方法は、いろいろ試行錯誤しましたが、最終的にホットプレートを使ってクレープを焼き、中のトッピングを選んでいたようにしました。

いざ当日になると、喜んでいただけるとも不安でしたが、それもおやつ作りを始めてすぐに、「美味しい」という歓声があちらこちらで聞こえ、その嬉しそうな姿を目にしたら、一瞬で不安な気持ちも飛んでいきました。

何より住人さんの喜びが、調理職員一同の励みにもなり、またこのような企画を考え、住人さんと楽しいひとときを過ごしたいと思っています。

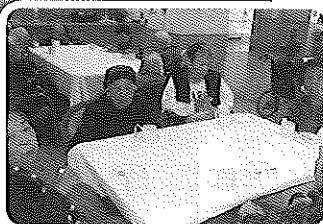


(野村佳央)

いちよっし。じらなばほーむ

12月9日(水)におやつレクを行いました。食生活向上委員会の取り組みによるものです。

その日は朝から住人さんたちが、「おやつレクがあるらしいよ」「おやつレクって何するの?」あまり聞かない言葉に興味津々。皆でワクワクしながらおやつ迎えました。



厨房の職員さんが、ホールでおやつ準備をしていると住人さんはもう釘付け。おいしそうなおやつレクの匂いが漂ってきました。そしてたくさんさんのクレープに包まれる具も運ばれてきました。一人ひとり順番に、クレープを焼いている前に並び、具を選びました。

「あれと、あれと・・・何を入れたらいい?」



あまり食べ慣れないおやつに住人さんも、迷っている様子。なんか選んだものを包んでもらい、口にしてみると・・・

「おいしい!」
皮も柔らかく、具も食べやすくしてあるため、多くの住人さんが味わうことができ、とても多くの笑顔が見られました。手作りは特別ですね。



追伸

職員もちよっぴりつまみ食いしました。おいしかったですよ(笑)

(伊藤 篤)

げやまき・くすのきほーむ

「たこ焼きパーティー」

去る10月24日(土)に3階共同生活室にて、たこ焼きパーティーを開催しました。

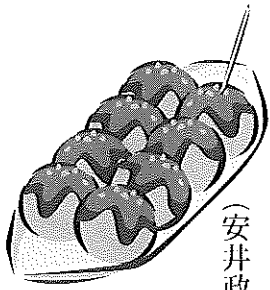
以前も何度か行ったことがありますが、毎回とても好評です。

目の前で実際に焼くところを見るのは、食欲をそそるようで皆さんおいしそうに食べられていました。



具材等を工夫することにより、比較的いろいろな方に食べていただくことが出来るのも好評な理由でしょうか。

皆さんそれぞれ思い思いの時間を過ごし、次回の開催をまた約束し、たこ焼きパーティーを終了しました。



(安井政孝)

ダイサービュスセンター

輪中の郷

食べている時の皆さんの表情が生き生きとされてみえ、とても嬉しくなります。

季節に合った行事を大切にしていきたいと改めて実感しました。

皆さん、季節を肌で感じていますか？近頃は、日本の四季が知らぬ間に過ぎていく時代ですが、その中で一つ一つ季節を大切にしていきたいものですね。

(深水利香)



11月7日(土)に「秋の収穫祭」と題して、「焼き芋」を食しました。

当日は、とても暖かい日となり、外に椅子を並べてアツアツの焼き芋を口いっぱい頬張り、とても美味しいと喜んでみえました。

お腹がいっぱいになった後は、全員で歌を唄い、子供の頃の食の話をしたり、楽しい時間を過ごしました。



弥富市

デイサービステンター



わりの景色を見ながら1kmのコースを歩かれる方もみえました。

帰りの車内では、「散歩できてよかったよ」「来年はもっときれいな時にも来たいね」と感想をくださいました。

1時間ほどの短い時間ではありましたが、とても楽しい時間を過ごせたように思います。

来年もまた皆さんと一緒に紅葉狩りに行きたいです。

(山田英貴)

11月10日(火)、12日(木)、18日(水)に季節外出で戸田川緑地公園へ出かけました。

少し早めの紅葉狩りでしたが、公園内でおやつを食べながら、紅葉し始めた木々やコスモスを見て、「まだちよつと早いけどきれいだね」「こういうのもなかなかいいねえ」と、利用者さん同士の会話も弾んでいました。

紅葉を観賞した後、公園内にあるハイキングコースを散歩し、ま



弥富市南

デイサービステンター

いこい農園が秋の収穫時期になりました。

春の終わりに、店に一つだけ売れ残っていたサツマイモの苗を購入し、初めて挑戦しました。売れ残りだけあって、枯れてちぢれていました。

こんな苗でサツマイモが収穫できるのか心配で、「こんな石ころの土地ではとれんわ」「アりに食われて終わりだわ」という利用者さんの声も聞かれました。

しかし、夏野菜の間をツルがどんどん伸び、甘いお芋の出来を期待させました。早く掘りたい気持ちを我慢し、秋の終わりを待ちましたが、皆には内緒で9月の中頃に掘ると、小指程の小さな芋が出ていました。

やっぱりこの土地では無理かなと思いましたが、10月の中頃には立派なサツマイモがたくさんでき、びつくりしました。

収穫したお芋は調理職員により、天ぷら・スイートポテト・蒸

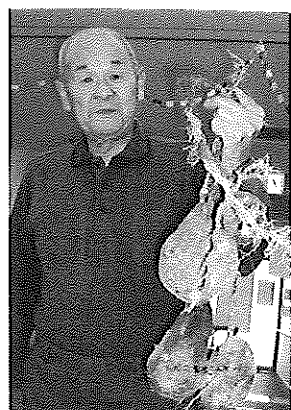
しパン等になり、皆さんのおやつに提供されました。



口々に「おいしい」「甘い」という声がかれ喜んでいただきました。

いつも食事量が少ない方もおかわりをされました。このような土地でも立派なお芋ができることがわかり、次はジャガイモに挑戦することになり、種芋の切り方や植える間隔などを教えてくださる方もみえ、今から楽しみにしています。

(鈴木由加里)



《台所の薬草》

「長芋」

数ある芋の中で、でんぷん分解酵素であるアミラーゼを多く含むため生食でき、消化のよい食材です。



野生種は、じねんじよ(自然薯)、あるいは山芋と呼ばれ、滋養強壮や胃腸の働きを整える効用があるといわれています。

長芋を使った料理は、大きく分けると生食・煮物・つなぎに分けられます。

生食でとろろ汁に用いる時は、若い芋よりひねた大きな芋を使うのがコツです。若い芋は、すりおろしてもコシがなく、色も黒ずみます。加えるだし汁は、生温かいものがよく、熱すぎると粘りがなくなり、冷たすぎると馴染みません。

また、すりおろしてお好み焼き等に入れたり、ふつくらおいしく仕上がります。茶碗蒸しに入れてもおいしいので一度お試しください。

(星野芳江)

亡くなられた方々

・松岡清光さん 八十一歳
平成二十一年十月十五日

・下里一子さん 九十一歳
平成二十一年十一月二十日

お二人のご冥福をお祈りいたします。



ご寄付
ありがとうございます
ございました

10月1日～11月30日

- ・木下たづ様
- ・奈良明美様
- ・焼権農園 伊藤昭彦様
- ・山田 修様
- ・中部善意銀行様
- ・渡辺重明様
- ・株式会社オールドリバー
- ・代表取締役社長 古川隆二様

編集後記

あけましておめでとうございます。

政権交代や芸能人薬物関連事件など大きなニュースがいろいろあった2009年が、疾風の如く過ぎていきました。

2010年は、つまり21世紀になって10年経ってしまっただけということ、個人的には非常に愕然としています。

毎年のように「一年があーつという間に過ぎていきました・・・」という感想を繰り返して、特に何をしたという訳でもない10年でした。恥ずかしい反面、ある意味幸せというか、おめでたいというか・・・まあやっぱり恥ずかしいですな。

今年はずっと健康で、そして平和で充実した毎日を送ったうえで、おなじみの「定形文」を口にできたら私にとって最高の年となるのではないのでしょうか。

皆様におかれましては、今年が良い年でありますように祈念いたします。

よろしくお願い致します。

(みそちゃん)

